

うづらだより

Volume
153
2023
Winter

お薬トリビア

薬剤師がお薬の
疑問を解決!

うづらトピックス

息切れや胸の痛みありませんか?

大動脈弁 狭窄症のお話

NEWS

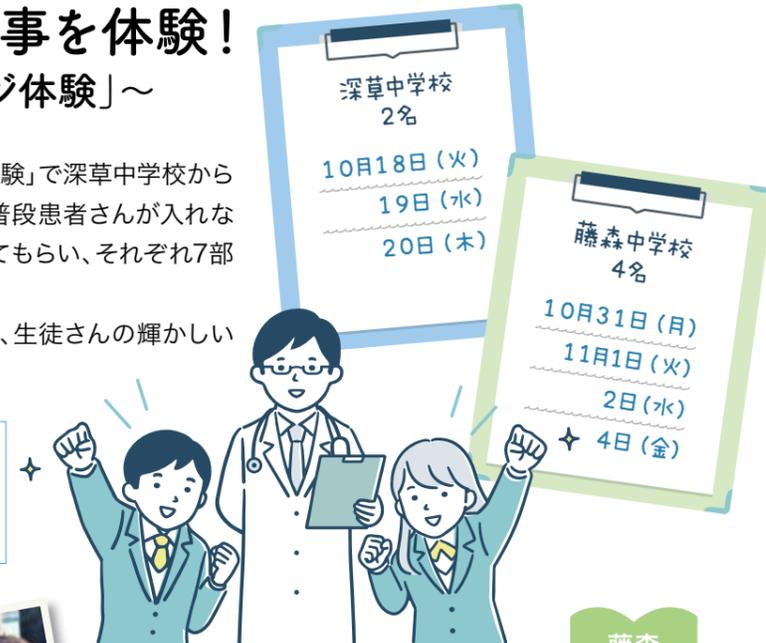
中学生が病院の仕事を体験! ～「生き方探究・チャレンジ体験」～

京都医療センターでは、「生き方探究・チャレンジ体験」で深草中学校から2名、藤森中学校から4名の生徒さんを受け入れ、普段患者さんが入れないバックヤードや実際の医療現場に足を踏み入れてもらい、それぞれ7部門の職種を体験していただきました。

今回の当院での経験を通して得た気づきや学びが、生徒さんの輝かしい未来に繋がりますようお願いしております。

【生き方探究・チャレンジ体験】

京都市では、自らを見つめ、生き方について考えを深めながら自ら学ぶ力を育む取り組みとして、生徒さんの興味・関心に応じた様々な勤労・職場体験を、授業の一環として行っています。



深草
中学校

藤森
中学校



京都医療センターへのアクセス

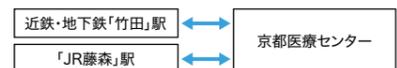
公共交通機関

- 京阪本線「藤森」駅下車 徒歩8分
- JR奈良線「JR藤森」駅下車 徒歩12分
- 京阪バス「京都医療センター」下車すぐ

無料巡回バスのご案内

平日のみ30分間隔で運行

「JR藤森」駅、近鉄・地下鉄「竹田」駅より無料巡回バスを運行しております。



※運行は平日のみです(土曜・日曜・祝日は運休)
※午前8時～14時45分まで、30分間隔で運行しますが、交通事情などにより若干のずれが生じることがあります。巡回バスの遅延により外来予約時間に合わない場合があっても、当院は責任を負いかねます。詳細はホームページをご覧ください。

車をご利用の場合

駐車場は台数に限りがあり、混雑が予想されます。当院へお越しの際は、なるべく公共交通機関・無料巡回バスをご利用ください。



P 駐車料金のお知らせ

利用者	駐車料金
外来患者 (当日の入退院患者含む)	・最初30分無料 ・5時間まで200円 ・以後1時間毎に100円加算 ※診察・検査終了後に割引処理が必要です。
お見舞い、 付き添いの方	・最初30分無料 ・1時間まで200円 ・以後1時間毎に100円加算 ※割引処理が必要です。当院からご来院をお願いしたご家族を含みます。
その他一般利用者	・1時間毎に800円加算

2022年3月28日(月)より、当院の駐車料金を上記のとおり改訂いたしました。

京都医療センターさん、これ気になります /

うづらトピックス

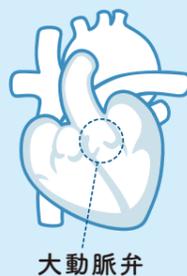
このコーナーでは、毎回身近な病気や医療をテーマに解説します。

今回のテーマ

大動脈弁狭窄症

こんな症状がある場合は要注意!

心臓の出口にある大動脈弁が、硬く狭くなることによって起こる病気です。心臓が十分な血液を送り出せないため、息切れやむくみの原因になります。胸が痛くなったり、気を失ったり、最悪の場合は突然死する方もおられます。何年もかけてゆっくり進行するので、加齢によるものだと思います、病気に気付いていない方も多いです。



息切れ



むくみ



胸痛



CHECK **上記の症状があれば、どうしたら良いのか?**

大動脈弁狭窄症の診断は、最終的には心臓超音波検査で行います。上記の症状があれば、まずはかかりつけの先生に聴診してもらってください。大動脈弁狭窄症の場合、異常な心雑音が聞こえることが多いです。心雑音があるようでしたら、ぜひ京都医療センター循環器内科を紹介してもらってください。心臓超音波検査で、きちんと評価します。



心臓超音波検査の様子

胸を切らなくても、治療できます。

狭くなった大動脈弁を広げる薬は、残念ながら今のところありません。標準的な治療は、開胸して狭くなっている大動脈弁を人工弁に取り換える手術です。しかし、当院でも今年の6月から、胸を切らずに足の付け根から入れたカテーテルで人工弁を入れる、新しい治療(TAVI:タビ)が始まりました。胸を切る手術に耐えられない方が対象で、今までに当院で行った8例も、80歳から90歳までの平均年齢83歳と、高齢の方が殆んどでした。「こんなに楽になるのだったら早く治療を受ければ良かった」とおっしゃる方もおられました。

TAVI手技の詳細はこちら



先生からのアドバイス

ピックアップニュース

京都・滋賀エリアで初のロボット支援下肝臓手術始めています!

当院の泌尿器科・婦人科・呼吸器外科・消化管外科では、すでに最先端手術支援ロボットであるダビンチXiを用いたロボット支援下手術を行っていますが、2022年4月に肝臓手術に対してロボット支援下手術が保険適応となったことから、**肝胆膵外科領域でも2022年8月からロボット支援下肝臓・膵臓手術を開始しております。**ロボット支援下手術では、より緻密で正確

な手術が可能となり、患者さんの負担軽減・術後早期の回復が期待できます。2022年12月現在、京都・滋賀エリアでロボット支援下肝臓手術を受けられるのは京都医療センターと数病院だけです。肝臓および膵臓手術を受けられる患者さんは、ぜひ当院にご相談ください!

詳しくは当院ホームページをご覧ください



薬剤師がお薬の疑問を解決!

お薬トリビア

薬剤部 小田 亮介



お薬を飲んでいて疑問に思うことはありませんか? 患者さんからの「よくある質問」についてQ&Aでお答えします!

Q 最近、体調が安定していて、お薬の変更がありません。お薬手帳って必要なのでしょう?

A お薬手帳には、下記のメリットが期待されています。

- どのようなお薬を飲んでいるか把握ができる
- 飲み合わせを確認できる(市販薬やサプリメント・健康食品を含む)
- どの医療機関で処方してもらったか分かる
- 他の病院を受診した時にスムーズに情報が伝えられる
- 「いつ」もらったか分かる
- 災害時、有効に活用できる(※)
- どのくらいの期間、お薬を服用していたか分かる
- 話すことが出来ない状態でも、上記の全てを伝えることができる

※東日本大震災の際、お薬手帳の内容から普段飲まれているお薬がスムーズに確認することができた事例が報告されています。

お薬の内容が長期間変わっていないとお薬手帳の必要性を感じにくいかもしれませんが、“お薬の変更が無く調子が安定していること”も大切な情報です。また、お薬手帳を病院ごとに分けて使用されている方がいらっしゃいますが、上記のようなメリットは、併用されているお薬すべてが1冊にまとめて記録されている必要があります。お薬の変更が無くとも是非、病院・薬局に行かれる際はお薬手帳をご持参ください。



==== 次回のお薬トリビアも「よく質問があること」についてお届けします。 ====

シリーズINTERVIEW / Personality 岸本 香織さん



過去の放送はこちら

FM845 京都リビングエフエム

毎月最終火曜日 14:05~14:30 放送

FM845 「カラダ元気」出演報告

2022.10.25 看護師 北野 由美

「寝ている間に内視鏡検査」

鎮静薬を使用した「眠っている間に終わる胃カメラ・大腸カメラ」について、お話しいたしました。

2022.11.29 副栄養管理室長 森岡 宏介

「毎日コツコツ、食事のコツ」

「今日からできる食事からのフレイル・サルコペニア予防」について、お話しいたしました。

2022.12.27 治験管理室長 後藤 禎人

「薬(クスリ)はリスク」

「治験(新しいお薬の開発)や薬の効果(作用・副作用)を検証する過程」について、お話しいたしました。

今後の放送予定

2023年1月31日	心臓リハビリテーション科医長 井口 守文
2023年2月28日	形成外科医長 海透 修子
2023年3月28日	腎臓内科医長 小泉 三輝